

# みんなの環境

第 51 号 2022 年 10 月 17 日

編集/発行 あつぎ環境市民の会  
<http://atsugikankyo.g3.xrea.com/>

## 市民のための環境学習講座 2022 を開講します

あつぎ環境市民の会 代表 \*井上 允

あつぎ環境市民の会では発足以来「みんなの環境展」や講演会、映画会を通して環境について考える機会を作ってまいりましたが、コロナ禍や円安、物価高など様々な問題山積の状況下で次世代を担う子どもたちの命を守るにはどうするかを皆で考えていただく機会として、厚木市市民協働推進課と環境事業課の協力を得て環境学習講座を開講することにしました。

今回の講座は、『みんなで考えよう「くらしといのち」』をテーマに、①行政からの現状報告、②市民による環境にやさしい新しいくらし方提案、③専門家による次世代を担う子どもたちを取り巻く化学物質や食べものに関する問題点の講演で構成、講師にはそれぞれの分野で長い間先駆者として活躍しておられる方々をお招きします。

会場は第 1 回から第 3 回までを厚木市ぼうさいの丘公園センター施設、第 4 回、第 5 回を厚木市文化会館集会室。特に若い方々や子育て世代に多数参加していただきたいので受講料は無料とし、講師と参加者との意見交換も活発に行いながら、身近な環境問題を自分のこととして実践につなげていただければと考えています。

講座概要は以下のとおりで募集開始は開催日の 1 か月前からメールで受け付けします。各講座の詳細は今後 HP やチラシでお知らせしますので多くの皆さんの参加をお待ちしております。

- 第 1 回 2022 年 11 月 5 日 (土) 13:00~14:30 「厚木市の排出ごみの現状を知る」
- 第 2 回 2022 年 11 月 20 日 (日) 13:00~15:00 「食品ロスとプラスチックごみを考える」  
会場：厚木市ぼうさいの丘公園センター施設内 講義室 B  
講師：片桐 亮さん (元厚木市循環型社会推進担当部長)
- 第 3 回 2022 年 12 月 3 日 (土) 10:00~13:00 「ソーラークッカーのあるくらし入門」  
会場：厚木市ぼうさいの丘公園センター施設内 研修室  
講師：狩野光子さん (あつぎ環境市民の会前代表)・宇宙キッチンの皆さん。
- 第 4 回 2023 年 1 月 21 日 (土) 13:30~15:30 「くらしの中の有害化学物質」  
会場：厚木市文化会館集会室 (4 階)  
講師：中下裕子さん (ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議代表理事)
- 第 5 回 2023 年 3 月 25 日 (土) 13:30~15:30 「食べものが劣化する日本」  
会場：厚木市文化会館集会室 (4 階)  
講師：安田節子さん (食政策センター・ビジョン 21 代表)

主催/あつぎ環境市民の会 お問い合わせ・参加申し込みは事務局、e-mail:pxa05613@nifty.com へ

\* (いのえう まこと) 厚木市上荻野在住

## 環境リサーチセンターを見学

- 肌で感じ目で見て「リアル」な体験を伝えよう -

\*高田昌慶

厚木市では、環境教育を推進しており私も市議会議員として押し進めている。しかし、「環境教育」とはなにか。新学習指導要領（文科省）で定められている「環境教育」によると、「環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うこと」とある。小学校3年生には飲料水や電気の確保や廃棄物の処理、5年生には公害から国民の健康や生活環境を守る事の大切さを守る事を目的にするという。



2022年8月4日厚木の杜 環境リサーチセンターへと見学に行ってきた。



このセンターは下水道を維持管理する会社「管清工業株式会社」（本社東京）による研究・研修及び下水道維持管理の歴史を学ぶ事を目的とした施設であり、2022年4月にオープンした。この会社のビジョンにはこう書いてある。「炊事・洗濯・トイレ、お風呂など、普段の生活で当たり前前にそこにある「下水道」を意識する機会は少ない。それは、つまりや悪臭がなく、快適な生活が送れているからであり、見えないところでしっかりと整備がなされている証明でもある。衛生を保って健康被害を抑制し、河川・湖沼



の水質を守り、水害を軽減する下水道は、暮らしにとって必要不可欠なライフラインと言っては過言ではありません。下水道が正常に機能するように管路管理を行うことこそ、私たち管清工業の務めです。」と。普段生活しているだけでは見えない、隠れている部分もスケルトンにして、水の流れをわかりやすく可視化し見せて頂いた。詰まる箇所の説明などを聞くととても「リアル」であった。

文科省が定める「主体性のある日本人を育成するために道徳性を養う事」という作文には申し訳ないが、これは道徳心の問題ではない。必要なのは、どこまで「リアル」であるかを伝える方法である。例えば、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困等が拡大し、トイレの詰まりで困るように、世界が機能不全を起こしている事を肌で感じ、耳で聞き、目で見る必要がある。そこで、初めて身近な問題から取り組む問題解決への一途を辿る事が出来るのではないか。その意味において、今回視察に伺った施設は日々接する「リアル」の中で社会を支えている。是非とも、肌で感じ、目で見る為に、小学校単位で計画をし、この施設へと足を運んで頂きたいと思う。そしてその上で、普段目には見えない世界へと想像を膨らませて欲しい。世界を構成する一人である若い有志と共に持続可能な社会を作っていけたらとこの記事を書いていて頬を緩ませ、少し期待をしている。

\*（たかだ まさのり）あつぎ環境市民の会 厚木市議会議員 厚木市幸町

## 最近のあつぎこどもの森公園とこどもの森クラブ

### 生態系に配慮した活動ひろがる

#### \*青砥航次

あつぎこどもの森公園は開園してから6年あまり、同時に設立されたあつぎこどもの森クラブも早いもので6年経ちました。クラブは、この公園の理念に基づいて、自然、農業、冒険の3部構成で管理や利用者対応のボランティアをしています。

ここでは自然プロジェクトチームを中心に活動を紹介します。

#### 1 荒れ地に森を作る。

秋になると落ちるコナラやクヌギのドングリをイベント時に利用者に拾ってもらいます。ここから苗を育てて、網登りの施設「ムササビの道」脇の荒れ地にこれもイベントの時植えます。始めに植えた木は3メートル以上に育ちました。毎年すこしずつ範囲を拡げて行く予定です。

森が育てば、斜面の土留めになり、カブトムシやオオムラサキなどの昆虫も来る、子どもたちに魅力的なところになります。そして若い木が育つことは二酸化炭素の吸収源になるので地球温暖化対策でもあります。



植樹4年目のコナラ林

#### 2 生態系に配慮した草刈り

くぬぎの丘は、市内でも少なくなった草地です。しかも除草剤などは使っていません。昔はどこにでもあった草地はゴルフ場を除いて意外に少なくなっています。ということは草地に依存する虫たちの棲み家も少なくなっています。結果レッドデータに名を連ねるものもいます。こどもの公園内の湿地や水辺の生き物の希少性は分かっている生物多様性保全上重要な場所ですが、草原もまた大事な場所です。



虫たちに配慮した草刈り

ここでは毎年3回業者による草刈り作業が行われるのですが、指定管理者に理解してもらい私たちが指示をして生息する昆虫などに配慮して高さを変えた草刈りをしてもらっています。

#### 3 拡がる活動

一般の親子から募集して行う「水辺の生き物調査隊」は大人気です。また昨年、東京農大の野生生物科学学生中心の「いきものガイド」が始まりました。毎月2回すべり台の降り口付近にテントを出して、図鑑や捕まえた実物の生きものを並べて子どもたちに見てもらっています。時にはヘビを展示することもあって、集まった子どもたちは興味津々です。

このほか園内に生育する植物を使った草木染め研究グループ、生育する植物のモニタリンググループなどが活動中です。これらに参加するには、保険などの関係から年間会費1500円の会員になっていただいています。

\* (あおと こうじ) あつぎ環境市民の会 あつぎこどもの森クラブ 厚木市林在住



ナラヤクヌギの木を半内(はんない)の長さに切り、炭窯(すみやき)の中に立ててヒシリ(ひしり)と詰めます。上にサジとよばれる細い薪(まき)を乗せて、一日目は窯(かま)をあたたためる為(ため)その後二日位(ふたひ)は口(くち)を小さくして蒸(む)し焼き状態(じょうたい)で焼き上げます。火止め(ひどめ)は煙(けむり)の色(いろ)と匂(におい)で決(き)める熟練(じゆくせん)技(わざ)も必要(ひつやう)です。煙(けむり)も冷(ひや)やせば木酢(もくそ)が取(と)れます。

画：櫻井進六（さくらい しんろく）あつぎ環境市民の会 厚木市七沢在住

### 入会のご案内

あつぎ環境市民の会では会の主旨に賛同する仲間を募集しています。  
 入会ご希望の方は下記の事務局宛に入会申込書を郵送またはメールにてお送りください。  
 問い合わせ先：〒243-0122 厚木市森の里 3-4-3 鷺谷（さぎたに）方 あつぎ環境市民の会  
 電子メール：pxa05613@nifty.com ケイタイ：090-7243-9254  
 会費：年会費 1,000 円 郵便振替口座：00200-7-132779 加入者名：あつぎ環境市民の会

|                          |    |   |   |   |
|--------------------------|----|---|---|---|
| 入会申込書                    | 西暦 | 年 | 月 | 日 |
| 氏名(ふりがな)                 |    |   |   |   |
| 郵便番号・住所                  |    |   |   |   |
| 電話番号                     |    |   |   |   |
| メールアドレス(注)               |    |   |   |   |
| (注) 電子メールを使った情報連絡をしています。 |    |   |   |   |

**みんなの環境 第51号 2022年10月17日発行**

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 井上 允 / 制作 長岡 恂  
<http://atsugikankyo.g3.xrea.com/>

事務局 〒243-0122 厚木市森の里 3-4-3 鷺谷雅敏方  
 e-mail : pxa05613@nifty.com ケイタイ：090-7243-9254

郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 1000 円) (C)あつぎ環境市民の会 2022